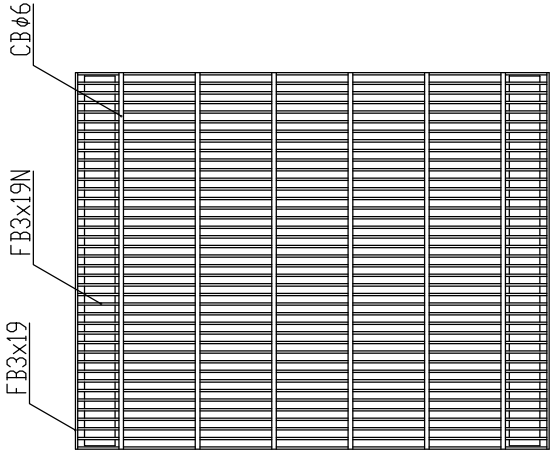
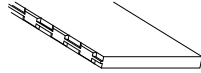
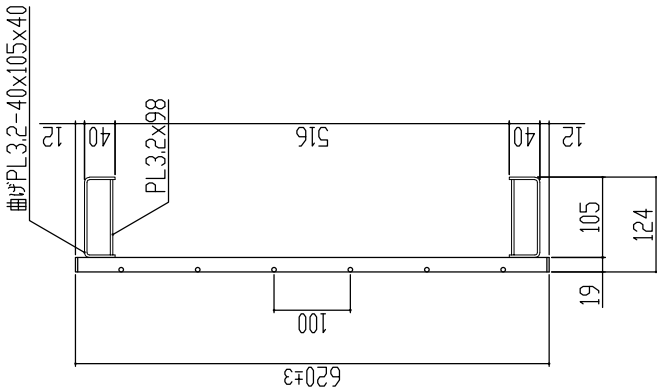
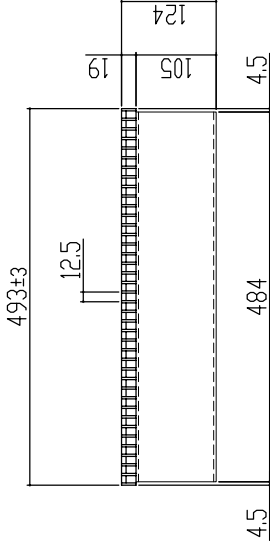




車輻進行方向(側溝)



本体重量 19.3kg

主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ (JIS H8641)

訂正年月日	訂正番号	訂正年月日	訂正事項	訂正者	承認印	承認印	検印	製図	図面名称	
	標準製作図面						山口	松本	かさ上げJIS道路側溝用(スチール)グレーチング	
	製作図面								溝幅500用 細目ノズスリップ	
	特注図面								歩道用 NHJK125-193N-5H	
									図番	MKG-N-264-2

株式会社 マキタ MK駐輪事業部

グレーチング強度計算書



仕様	品 名	NHJK125-193N-5H
	製品寸法	620x493x19+105
	主部材	FB - 3 × 19

設計条件	支点間距離	L= 516	許容たわみ量	$\delta b = L/500 = 1.032$
	主部材ピッチ	O= 12.5 mm	ヤング係数	E = 2100000 N/mm ²
	断面二次モーメント	I= 0.171 cm ⁴ = 1714.75 mm ⁴		

3 強度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。 $\omega = \text{設計強度} \times \text{ピッチ}$ より $\omega = 0.005 \times 12.5$ $\omega = 0.06 \text{ (N/mm)}$ 2. ベアリングバーの最大たわみ: δ (mm)を求める。 $\delta = 5 \times \omega \times L^4 / 384 \times E \times I$ より $\delta = 5 \times 0.0625 \times 70892257536 / 384 \times 2100000 \times 1714.75$ $\delta = 0.016021 \text{ (N}\cdot\text{mm)} \leq 1.03 \text{ (許容たわみ量)}$
-------------------	---

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--